

栃木県埋蔵文化財センターでは、県内各所で発掘調査を行い、その成果を報告書にまとめるとともに、普及・活用や資料を将来に伝える仕事をしています。

平成27年度に行った調査の中から、選りすぐりの遺跡を、分かりやすくご紹介する年に一度の発掘調査報告会です。

プログラム

受付 9:30～10:00

— 午前の部 10:00～12:00 —

鹿島前遺跡 (那珂川町・古墳時代)

古代那須の豪族が眠る古墳群の一部を調査しました。豪族が儀式や居住に使用したと考えられる堀で囲まれた施設や、この時期ではめずらしい鉄や銅の生産も確認されるなど、古墳時代のはじまりを考える上で、見逃せない発表です。

愛宕塚古墳 (下野市・古墳時代)

6世紀末に豪族が築いた古墳です。石室の中からは死者に供えられた金メッキの馬具や須恵器の大甕が発見され、巨大古墳が造られなくなった直後の地域社会を知る手がかりが得られました。最新の調査成果をお届けします。

横倉遺跡・横倉戸館古墳群 (小山市・縄文時代)

旧石器時代から近世までの集落遺跡・古墳群です。その中から縄文時代にスポットをあて、生活しにくいと考えられる急斜面につくられた巨大住居跡、そして、その中から完全な形で発見された急須型の土器(注口土器)や玉類。縄文時代後期の謎に迫ります。

— 特別報告 13:00～13:40 —

東日本大震災復旧・復興の発掘調査と遺跡が語るもの

公益財団法人 福島県文化振興事業団 遺跡調査部 調査課長 吉田秀享 氏

福島県では、東日本大震災の被災後、未来を拓くさまざまなプロジェクトが進められています。それに伴い多くの発掘調査も実施され、当財団では平成25年度から職員を派遣し協力を行ってまいりました。今回、現地で陣頭指揮を執る吉田氏に、これまでの成果や課題、製鉄遺跡などの研究について、お話しいただきます。

— 午後の部 13:45～15:00 —

岩舟台遺跡 (大田原市・古墳時代)

那珂川を見下ろす段丘崖上につくられた遺跡です。昨年の縄文編に続く古墳編をお届けします。古墳の塚は失われていましたが、刀や鉄のヤジリを副えた木製の“ひつぎ”であったことをつきとめました。那須地域に加わる新事実が初めて明らかにされる瞬間です。

雀宮宿跡 (宇都宮市・江戸時代)

18～19世紀の日光道中“雀宮宿”の一部を調査しました。この宿の仮本陣で問屋名主を務めた次左右衛門宅の地下室跡からは、大量の陶磁器が発見され、絵図面や文書で残る江戸時代の歴史を、考古学的に裏付けた成果をお話しします。

— ガラリートーク 15:00～16:00 —



横倒して見つかった土器 (鹿島前遺跡)



石室の入口に立つ石製の門 (愛宕塚古墳)



急須型の縄文土器 (横倉遺跡・横倉戸館古墳群)



鉄のヤジリがまとめて出土 (岩舟台遺跡)

